

関西武夫原会

常任幹事 真佐喜 彰 (法20回卒)

去る平成19年11月16日(金)、関西武夫原会総会・懇親会が60名の参加を得て開催されました。会場は、今回も大阪城近くの「太閤園」です。

開催に当たっては、永く関西武夫原会を纏めていただいている谷会長の下で都合4回の幹事会が開かれ、前回総会の折に実施したアンケート結果を踏まえて、なるべく多くの方、特に若い方に参加してもらおう、参加者には楽しく過ごしてもらおう、という観点から種々検討され、出身高校ルートや職域での声かけも行いました。

結果的には、残念ながら昨年よりも参加者が減り今後大いに課題を残すことになりましたが、女性の参加が多かったこと、夫婦同伴の方も何組かあったことは特筆すべきことでした。

グラスを片手にテーブルを回って旧交を温め合い、俄か異業種交流が繰り広げられました。至る所で熊本弁が飛び交い、馬刺し・辛子蓮根に舌鼓を打ち、一時を昔に帰って過ごすことができました。

次第を辿ってみますと、総会の部は谷会



長の挨拶で始まり、事業報告・会計報告等は簡単に済ませ、早々に懇親会の部に移りました。9人の来賓の紹介があり、代表で中島武夫原会会長と益田熊本県大阪事務所長にご祝辞をいただいた後で、北森副会長の音頭で乾杯し、懇談に入りました。その後は、お楽しみのビンゴゲーム。今年も、数多くの品物の提供を受けての童心に帰っての争奪戦、大いに盛り上がりました。そして、「武夫原頭に草萌えて」の合唱・乱舞の後、昭和29年卒業の緒方学さんの締めで来年再会を期することになりました。

次回は、より多くの方の参加をお待ちしています。

(まさき あきら)